

名画が奏でる8つのフーガ 青木・セザンヌ・ルノワール  
ブリヂストン美術館コレクション展

西洋の近現代美術、そして明治以降の日本洋画の記念碑的作品を所蔵する石橋財団。その名品の数々を、この夏、久留米市美術館で公開いたします。セザンヌ、モネ、ルノワール、九州では初の公開となるカイユボットといった印象派から、国の重要文化財である青木繁《わだつみのいろこの宮》、藤島武二《天平の面影》、そして、野見山暁治、ザオ・ウーキーら今世紀の絵画まで。8つの部屋ではメインの作品を取り巻く全96点が、主題や色、作家同士の関係によって響き合い、フーガ（遁走曲）のように、つかず離れず、時代や洋の東西も超えてゆるやかに結ばれていきます。現在、2019年秋の再オープンに向けてブリヂストン美術館が休館中のため、質量ともに充実した展示が可能になりました。ぜひ、周知のため広報にご協力いただきますようお願いいたします。

展覧会名	名画が奏でる8つのフーガ 青木・セザンヌ・ルノワール ブリヂストン美術館コレクション展
会期	2018年7月14日（土）～9月9日（日） 月曜休館（7月16日、8月13日は開館）
作品数	全96点
会場	久留米市美術館（本館2階）
主催	久留米市美術館、西日本新聞社、テレビ西日本
特別助成	公益財団法人石橋財団
後援	久留米市教育委員会
入館料	一般1,000円（800円） シニア700円（500円） 大学生500円（300円） 高校生以下無料 ※（ ）内は15名以上の団体料金、シニアは65歳以上 ※前売券600円あり ※本館1階で開催する「ブラティスラヴァ世界絵本原画展」（7月21日～9月9日）との共通当日券1,200円、共通前売券1,000円あり。
開館時間	10:00-17:00（入館は16:30まで） 9月1日（土）、8日（土）は19:00まで延長開館 *17:00以降の入館無料
交通案内	JR博多駅よりJR久留米駅まで新幹線で20分、快速で40分 福岡(天神)駅より西鉄久留米駅まで特急で30分、急行で40分
本展に関するお問い合わせ	久留米市美術館（公益財団法人久留米文化振興会） 展覧会担当：佐々木奈美子 広報担当：森智志 〒839-0862 福岡県久留米市野中町1015（石橋文化センター内） TEL0942-39-1131 / FAX0942-39-3134

## 展示構成

### Theme 1 セザンヌの青い山

—ゴーガン、スーティン、和田英作、古賀春江、安井曾太郎、レジエ

### Theme 2 水面を染めるモネの黄昏

—浅井忠、山下新太郎、藤島武二、マティス、デュフィ

### Theme 3 輝けるルノワールの少女たち

—マティス、マイヨール、梅原龍三郎、黒田清輝、カイユボット、ドガ

### Theme 4 青木繁と海辺の神話

—今村紫紅、ブーダン、古賀春江、ロダン、小杉未醒、坂本繁二郎、佐伯祐三

### Theme 5 坂本繁二郎と聖なる牛馬

—ドーミエ、ロートレック、マリーニ、ザツキン、シニャック

### Theme 6 赤と裸婦とマティス

—モンドリアン、ヴラマンク、小出権重、国吉康雄

### Theme 7 奏でる女性たち 藤島武二

—浅井忠、青木繁、中沢弘光、ブールデル、ドニ、岸田劉生

### Theme 8 ザオ・ウーキーと形のない風景

—スーラージュ、菅井汲、野見山暁治、マルケ

東西の名画が  
一堂に

## 展覧会のみどころ

### 1. 日本とヨーロッパの多彩な作品

石橋財団のコレクションは、近代から

今日までの「日本」と「西洋」の美術史を彩る

重要な作家たちの作品で構成されています。



①クロード・モネ  
《黄昏、ヴェネツィア》1908年頃

—Theme 2

③ザオ・ウーキー 《07.06.85》1985年

©Zao Wou-Ki ProLitteris, Zurich

今回の展示にも、日本洋画の  
記念碑的作品から、印象派の絵画、  
現代の作品までが含まれています

②藤島武二 《天平の面影》1902年



—Theme 8



—Theme 7

## 2. 「相互のつながり」という視点

展示されている作品と、私たちはこれまでも  
 様々な切り口で向き合ってきました。今回のキーワ  
 ードは「連想」。一つの作品としての全体像を大切に  
 しつつも、相互の關係に注目することで  
 それぞれの新たな魅力を引き出そうと試んでいます。

つながり合う  
 作品と作品



④坂本繁二郎《放牧三馬》1932年

—Theme 5



⑥アンリ・マティス《画室の裸婦》1899年

—Theme 6

⑤ギュスターヴ・カイユボット  
《ピアノを弾く若い男》1876年



—Theme 3

## 3. 名作との出会いと記憶

次に会えるのは  
 いつ？

私たちをご提供したいのは「ここで、この絵  
 に会える」という喜びです。花と光につつま  
 れた美術館で見た作品の記憶は、過去から  
 今へ、今から未来への大切な贈り物。  
 この貴重な機会が、私たちの共通の思い出と  
 なりますように。



⑦ポール・セザンヌ  
《サント=ヴィクトワール山とシャトー・ノワール》  
1904-06年

—Theme 1

⑧青木繁《わだつみのいろこの宮》1907年

—Theme 4





⑨ ピエール=オーギュスト・ルノワール  
《すわるジョルジェット・シャルパンティエ嬢》  
1876年



—Theme 3

関連事業 \* 全て参加費無料

- ① ギャラリートーク 本館2階エントランス／申込不要（要本展チケット）  
・毎週土曜日（7/28、8/25をのぞく）、日曜日 14:00-14:20
- ② 美術講座 本館1階多目的ルーム／申込不要／先着70名  
「日仏美術交遊録—モーリス・ドニと梅原龍三郎を中心に」  
・7月28日（土）14:00（13:30開場）-15:30  
・佐々木奈美子（久留米市美術館学芸員）  
「カイユボットと印象派の画家たち」  
・8月25日（土）14:00（13:30開場）-15:30  
・賀川恭子氏（ブリヂストン美術館学芸員）
- ③ ワークショップ「次はどーなる!? アニメで作ろう☆絵のつづき」 要申込  
・7月29日（日）①10:00-12:00 ②14:00-16:00  
・講師：馬場通友氏（イラストレーター/アニメーター）  
・対象：小学生（要保護者引率。引率者は要本展チケット）  
・定員：各回12名（申し込み多数の場合は抽選）  
・場所：本館1階多目的ルーム  
・申込方法：①1回目・2回目の希望 ②氏名(ふりがな) ③学年 ④住所 ⑤引率者氏名・  
連絡のとれる電話番号を記入の上、FAXまたはハガキで久留米市美術館まで。  
・申込締切：7月9日（月）必着（結果は応募者全員に7月14日迄にお知らせします。）

作品掲載に関するお願い

1. 作品掲載をご希望の方は、別紙の「画像利用申込書」にて申請ください。
2. 展覧会の広報を目的とした使用に限らせていただきます。二次使用はできません。
3. 作品の文字のせ、トリミングはできません。
4. 当館が指定するクレジットを必ず作品と一緒に掲載してください。クレジットは別紙の「広報画像利用申込書」をご参照ください。
5. 広報用作品以外の画像をご希望の場合は、申込書の「その他」の欄にタイトルを記入してください。
6. 掲載見本を必ず1部お送りください。